保存版

二宮町 水害ハザードマップ

Ninomiya Town Flood Hazard Map

わたしの避難行動（マイ・タイムライン）

いざという時に慌てないために、ハザードマップを見て、避難先や避難経路を事前に確認しておきましょう。

平常時

避難先、避難の際に必要な情報を記載しましょう

名　前	電話番号	必要事項（常備薬等）

避難の際、支援してくれる人
名前：
電話：
住所：

必要項目に記載し、☑にチェックしましょう

ハザードマップを見て自宅周辺を確認

●自宅は**浸水想定区域内**にあるか … ある□／ない□
　「ある」場合…洪水□　浸水の深さは、[　　]m
　　…内水□　浸水の深さは、[　　]m
　　…高潮□　浸水の深さは、[　　]m

●自宅が**家屋倒壊等氾濫想定区域内**にあるか … ある□／ない□

●自宅が**土砂災害警戒区域内**にあるか …… ある□／ない□

●気象情報を収集し、危険を感じたり、避難情報が出たら……
　… □自宅に待機し、状況に応じて**屋内安全確保（垂直避難）**する。（※むやみに外出せず、情報収集に努める）
　… □避難先（避難所、親戚・知人宅など）へ**立退き避難（水平避難）**する。[避難先：　　移動時間　　分]

●避難するタイミングと場所
実際に避難するときどこへ避難するか、危険を感じたらどこへ逃げるのか、マップや「二宮町タイムライン（防災行動計画）」を参考に自分のマイタイムラインを考えてみましょう。

▶タイムライン、マイタイムライン

雨風が強くなる前

二宮町の情報	《参考》気象庁等の情報
	■台風情報 河川氾濫が想定される大規模な台風等
警戒レベル2	■台風に関する気象情報 ■注意報

被害を軽減するために、また避難するために必要なことをまとめましょう。

Point 「1 階が浸水する場合、家財を 2 階以上に上げる。」「浸水被害を防ぐために土のうを用意する。」などまとめましょう。

避難行動を開始

警戒レベル3 高齢者等避難	■警報
警戒レベル4 避難指示	■危険警報

避難する際の注意点を家族で考えましょう。

Point 避難のタイミングは、早めに！逃げ遅れがないよう、空振りをおそれず早めの避難を心がけましょう。

ここまでに避難を完了する！

身の安全を確保すべき時

警戒レベル5 緊急安全確保	■特別警報

もしも逃げ遅れたら…

災害がすでに発生しています。命を守るための最善の行動を!!

外に避難することがかえって危険な場合は、その時点にいる建物内の安全な場所で安全を確保してください！

※気象庁の防災気象情報は、令和8年5月頃に予定されている変更内容を反映しています。

災害情報等の入手先

災害の危険が高まったときは、テレビ・ラジオ・インターネットなどで情報を自主的に収集しましょう。
町から避難情報が発令された場合は、すぐに避難行動を開始してください。

二宮町

テレビ　地上波デジタルのテレビ画面で【dボタン】を押すと気象情報や災害情報などをご覧になれます。

ラジオ　AM▶アール・エフ・ラジオ日本：1485kHz
FM▶湘南マジックウェイブ：85.6 MHz

防災行政無線

防災情報や周知が必要な情報を町内各所に設置している屋外スピーカーから町民の皆さんへお知らせします。
防災行政無線の内容は、右記でも確認できます。

▶電話で内容確認：0463-72-0039
※24 時間以内の放送内容を確認できます。
※通話中は、電話料金がかかります。

二宮町ホームページ
町HPから、町の防災への取り組みや、災害情報、気象情報等について情報提供を行っています。

町公式 LINE
二宮町（@ninomiyatown）

町公式 X（旧 Twitter）
二宮町防災・安全安心情報（@ninomiyabousai）

緊急速報「エリアメール」・緊急速報メール
緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールとは、二宮町が発信する災害時の緊急情報等を二宮町域内にある携帯電話にメールで一斉配信するものです。

防災情報メール
防災情報をメールで配信します。
受信登録は右の二次元コードから空メールをお送りください。

防災アプリ「ハザードン」
気象情報や避難情報がプッシュ通知で届きます。

神奈川県

神奈川県災害情報ポータル
神奈川県内の気象警報・注意報や避難情報を確認できます。

神奈川県土砂災害情報ポータル
土砂災害のおそれのある区域の検索や土砂災害警戒情報の発表状況を確認できます。

神奈川県雨量水位情報
神奈川県内の河川の水位情報や雨量を確認できます。

国

国土交通省「防災情報提供センター」
国土交通省が公表している防災情報を集約し、わかりやすく提供しています。

横浜地方気象台
天気予報や防災気象情報を確認できます。

全国瞬時警報システム（J アラート）
全国瞬時警報システム（J アラート）とは、緊急地震速報等の自然災害情報や弾道ミサイル情報等の国民保護情報といった、緊急情報を消防庁から防災行政無線で瞬時に伝達するシステムです。

災害用伝言ダイヤル（171）
電話で声の伝言を残すことができます。安否の連絡にご活用ください。
※録音された伝言は、連絡をとりたい方の電話番号を知っているすべての人が聞くことができます。

伝言の録音　171 ▶ 1 ▶ 相手の電話番号 ▶ 伝言を入れる
伝言の再生　171 ▶ 2 ▶ 相手の電話番号 ▶ 伝言を聞く

▶災害用伝言板　web171、携帯電話各社のサイトから安否情報を登録できます。
災害用伝言板

ハザードマップについて

二宮町水害ハザードマップは、大雨や台風などによって起こる水害の危険性を分かりやすく示したものです。
いざというときに、どこへ避難すれば安全か、どう行動すればよいかを事前に知っておくための情報がまとめられています。ご自身やご家族の命を守るために、ぜひご活用ください。
このハザードマップでは、「洪水」「内水氾濫」「高潮」の3つの水害と「土砂災害」を対象としています。

ハザードマップはあくまで想定図です。場所によっては異なる状況になることも想定されます。

災害 発生前

❶ 家の位置を確認しましょう

❷ 避難場所等を確認しましょう

❸ 避難ルートを考えてみましょう

❹ 災害や避難について、話し合ってみましょう

災害 警戒時

❺ テレビやラジオ、インターネットなどで気象情報、避難情報を確認してください

❻ 避難してください

危険を感じたら早めに避難してください。避難情報が出たときも、迷わず避難してください。

災害 発生時

❼ 2階以上へ避難を！

災害発生時は、外に出ることがかえって危険なため、自宅の2階以上や近くの高い建物への避難など、安全を最優先した行動をとりましょう。

二宮町で作成している他のハザードマップ

二宮町では、水害ハザードマップのほかにも、地域の災害リスクや避難に役立つ情報をまとめた、さまざまなハザードマップを作成しています。

日頃からの備え

災害時に慌てず行動するためには、日頃からの備えが重要です。災害から命を守るために、事前に確認しておきましょう。

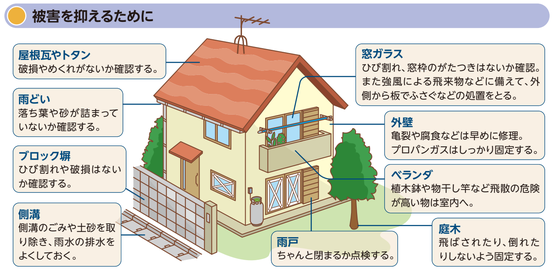
❶安全な避難経路の確認を

避難所までの経路（避難経路）は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

❷非常持出品、備蓄品の事前準備を

ご家庭の状況等に応じて、必要なものを準備しましょう。また、自宅での備えとしては、飲料水や食料などを最低でも 3 日分は備蓄しておくことが大切です。

被害を抑えるために



家の中の浸水に備えて

■トイレや洗濯機などの排水溝
水を入れたビニール袋などでふさぎ、逆流による室内への浸水被害を防止します。

■家具や貴重品の移動
床上浸水のおそれがある場合は、大切な家財道具や貴重品を2階や高い安全な場所へ移動させておきましょう。

■止水板
出入口は長めの板などを使用し、浸水を防ぎます。

避難訓練について

いざというときに落ち着いて行動できるように地域などの避難訓練に積極的に参加し、日頃から心構えをしておきましょう。
二宮町では自主防災組織などと連携し総合防災訓練を行っています。
「一人の犠牲者も出さない」ために、地域で助け合える体制づくりがとても大切です。日頃から顔を合わせ、声をかけ合うことが、いざという時の力になります。

地域の防災活動を支える組織
- ●地区自主防災組織
- ●二宮町女性防災隊
- ●二宮町消防団

災害について

大雨の原因となる天気

大雨は以下のような現象により発生することがあります。

■台風の接近

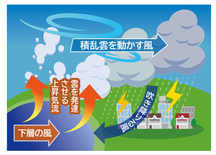
台風は、暖かい海の上で発生する、大きな渦巻き状の低気圧です。強い風と激しい雨をともない、広い範囲に大雨や暴風をもたらします。
また、台風の進行方向に対して右側では、風が特に強くなる傾向があります。

■前線の停滞

前線とは、暖かい空気と冷たい空気がぶつかることで、そこに雲ができて雨が降りやすくなる現象です。
前線が同じ場所にとどまると、長時間にわたって強い雨が降ることがあります。

■線状降水帯

雨雲が帯のように連なって、同じ場所に次々と強い雨を降らせる現象です。
長時間にわたって大雨が続くため、洪水や土砂災害の危険が高まります。



雨が降り続くと・・・

雨が降り続くと、以下のような災害が発生する可能性が高まります。

■内水氾濫

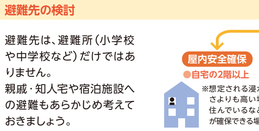
大雨で排水が追いつかない時や、河川の増水で雨水が排水できない時に**内水氾濫**が発生します。内水氾濫は、下水道や水路、マンホールから水があふれ、街中や低い土地に水がたまる現象です。

■外水氾濫（洪水）

大雨によって河川の水が堤防の高さを越え水があふれる、もしくは堤防が決壊することで**外水氾濫（洪水）**が発生します。

■高潮

台風や発達した低気圧が近づいて海面が高くなると、**高潮**が発生します。
高潮は、地震による津波とは異なり、気圧の低下による海面の吸い上げや、強い風による海水の吹き寄せによって起こります。



■土砂災害

大雨などによって、山や斜面の土や石が崩れたり流れ出したりして**土砂災害**が発生します。二宮町では**「がけ崩れ」「土石流」**の警戒区域が指定されています。

避難行動とは

避難行動には、自宅外の安全な場所へ移動する**「立退き避難（水平避難）」**と、自宅の 2 階など屋内でより安全な場所へ移動する**「屋内安全確保（垂直避難）」**があります。
避難するタイミングに応じて、最も適切な行動をとりましょう。

避難の基本的な考え方
- 優先❶ 早めに安全な親戚・知人宅等へ避難
- 優先❷ 町が開設する避難所へ避難
- 優先❸ 避難する事がかえって危険な時は屋内安全確保

立退き避難（水平避難）

河川の近くや浸水の深さが大きくなる地域、家屋が流されるおそれのある区域など、その場にとどまることが危険な場合は、**親戚や知人宅（分散避難）、または避難所への立退き避難を行いましょう。**

❗立退き避難は、災害が発生する前に行うことが原則です。
❗避難所へは非常持出品を持参しましょう。

屋内安全確保（垂直避難）

2階以上への避難を!

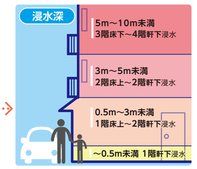
夜間や急な大雨などで浸水が始まっている場合は、外に出ることがかえって危険なため、**自宅の2階以上や近くの高い建物への避難など、安全を最優先した行動をとりましょう。**
なお、**早期の立退き避難が必要な区域に当てはまらず**、自宅で安全が確保できる場合は、自宅の2階などでの在宅避難が可能です。

❗**在宅避難を考える**
在宅避難を行うためには、日頃から飲料水や食料、災害用トイレ（凝固剤タイプ）、蓄電池などの生活必需品の備蓄、自宅の災害対策を行いましょう。

早期の立退き避難が必要な区域

次に当てはまる場合は、早期の立退き避難が必要です。

❶土砂災害警戒区域に入っている
❷家屋倒壊等氾濫想定区域に入っている
❸洪水浸水想定区域にあり、居室が浸水深より低い
❹老朽化した高木や空き家が隣接している



避難先の検討

避難先は、避難所（小学校や中学校など）だけではありません。
親戚・知人宅や宿泊施設への避難もあらかじめ考えておきましょう。

警戒レベルと、とるべき行動

災害の危険が迫り、住民の避難が必要になった場合には、町から避難に関する情報が発令されます。
それぞれの情報に応じて、ためらわずに避難行動をとりましょう。
※赤枠内は町が発令する避難情報です。

警戒レベル	状況	住民の皆様が取るべき行動	避難情報等	防災気象情報（警戒レベル相当情報） 大雨	河川氾濫	土砂災害	高潮
警戒レベル5	災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保	レベル5 大雨特別警報	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
	警戒レベル4までに必ず避難！						
警戒レベル4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	レベル4 大雨危険警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3	災害のおそれあり	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など	高齢者等避難	レベル3 大雨警報	レベル3 氾濫警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	気象状況悪化	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、タイミングなど）	——	レベル2 大雨注意報	レベル2 氾濫注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	——	早期注意情報			

※気象庁は避難を判断する際の参考として「警戒レベル（3～5）相当」を発表しますが、
町では町内の状況を考慮して避難情報を発令するため、警戒レベル相当とは一致しない場合があります。

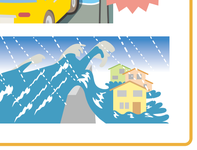
雨の降り方と雨量の目安

予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量（mm）	10 以上～20 未満	20 以上～30 未満	30 以上～50 未満	50 以上～80 未満	80 以上～
状況	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感がある、恐怖を感じる

キキクル

「キキクル」は、気象庁が公開している防災情報で、大雨や洪水による災害の危険度を地図で確認できます。
スマートフォンのアプリやメールで、危険が高まった場所をリアルタイムに知らせてくれる「プッシュ型」の通知サービスもあるので、事前に確認しておきましょう。

■キキクル（警報の危険度分布）
キキクル



避難時の心得

❶正確な情報収集と自主的な避難を

ラジオ・テレビ・インターネットで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

❷お年寄りなどの避難に協力を

お年寄りや子供、障害のある方は、早めの避難が必要です。近所の方々が避難に協力しましょう。

❸避難の呼びかけに注意を

危険が迫ったときには、町や消防団から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。

❹動きやすい格好、2人以上での避難

避難するときは、動きやすい格好で、2 人以上での行動を心がけましょう。

❺浸水している場所は注意が必要

浸水している場所は足元が見えず側溝やふたの外れたマンホールなどに転落するおそれがあり危険です。
長い棒などで足元を確認しながら歩きましょう。

❻流れのある場所へは近づかない

ゆっくりとした流れでもひざの高さになると危険です。
用水路や河川など流れのある場所には近づかないようにしましょう。

避難時は近づかない！

◆アンダーパスに注意
アンダーパスは、道路が他の道路や鉄道の下をくぐる構造になっている場所で、大雨の際には水が溜まりやすく、非常に危険です。
冠水している場合は、無理に進まず、必ず迂回しましょう。

◆海岸付近の地域は注意
海岸近くでは、台風や強風時により潮位が急上昇することがあります。また、大潮の満潮時と重なった場合、高潮の危険度も高くなります。
海辺や低地には近づかないようにしましょう。